

整理番号
152

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	都市間交流事業			担当課	協働まちづくり課
業務名	-			担当係	協働推進係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度
施策項目	6	国内・国際交流		事業区分	直営
主な取組	1	姉妹都市・友好交流都市等との交流の継続・充実		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	一般	2	1	13	都市間交流事業

目的と方針【PLAN】
市の活性化や人材育成、関係人口の増加に向け、姉妹都市や友好交流都市との交流の継続・充実を図るほか、グローバル化のさらなる進展に対応し、多くの市民が英語に親しむ環境の整備、多文化共生のまちづくりを進めます。

事業概要【PLAN】
姉妹都市、友好交流都市等との相互交流を促進し、継続した友好関係の構築と市民間交流等の促進を図ります。

対象【PLAN】	市民 姉妹都市・友好交流都市 伊達市国際交流協会	意図【PLAN】	姉妹都市・友好交流都市の市民との相互理解と親善・友好を深め、それぞれの地域の発展のために寄与する。
-----------------	--------------------------------	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
国際化に対応できる人材を育成し、また異文化を理解し、多文化共生社会の構築を目指す。行政レベルの交流から市民レベルの交流に広げ、事業の継続・発展を目指すとともに、市民間の交流の活性化を図る。

事業費【DO】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	409	52		
	一般財源	千円	2,581	1,130	3,181	2,318		
	事業費合計	千円	2,581	1,130	3,590	2,370		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【DO】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
姉妹都市、友好交流都市等との相互交流人数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	150	150	150	150	150
			実績値	126	179			
			達成率	84.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	姉妹都市・友好交流都市との相互交流の促進が、市の認知度の上昇や本市特産品等の購買促進につながるため必要性が高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	今年度は、松前町と協定締結40周年、草津市と協定締結10周年の年となっており、市民を巻き込んだ記念事業を実施し、姉妹都市・友好交流都市の認知度が上がったとともに多くの市民の方に参加いただき、市民満足度も十分に得られることが出来た。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	交流事業の内容について、オンラインツール等も活用し、必要最低限の費用で最大限の効果が得られるものとするよう努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	今年度は、姉妹都市・友好交流都市との協定締結の周年記念事業が多く、また、新たに協定締結を結んだ自治体もあり、各友好都市と活発に交流をすることが出来た。今後も周年に関係なく、密度のある交流を継続していきたい。また、国際交流姉妹都市であるリヴィア市とは、4回のオンライン交流を実施した。引き続き、オンライン交流を続け、今後の直接の交流につなげていきたい。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
153

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	英語が溶け込むまちづくり事業（再掲）			担当課	協働まちづくり課
業務名	英語に親しむ環境づくり推進業務			担当係	協働推進係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	6	国内・国際交流		事業区分	直営
主な取組	2	英語に親しむ環境の整備		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	一般	2	1	8	英語が溶け込むまちづくり事業

目的と方針【PLAN】	市の活性化や人材育成、関係人口の増加に向け、姉妹都市や友好交流都市との交流の継続・充実を図るほか、グローバル化のさらなる進展に対応し、多くの市民が英語に親しむ環境の整備、多文化共生のまちづくりを進めます。		
事業概要【PLAN】	国際交流員により、認定こども園や保育所、幼稚園、小中学校などでの英語体験活動の実施する。また、市民を対象とした英語体験イベントや各地域における出張英語講座を開催します。		
対象【PLAN】	英語に触れる機会が少なかった市民	意図【PLAN】	「英語」に対する抵抗感の解消、外国文化への興味関心を高める。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	<ul style="list-style-type: none"> 日本語にも精通した英語圏の外国人が直接市民と接する機会を設けること。 市民が英語や外国文化に興味を持ってもらうようになるための仕組みをつくること。 		

事業費【D0】	年度	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	668	695	682	484		
	一般財源	千円	10,195	11,004	10,353	8,937		
	事業費合計	千円	10,863	11,699	11,035	9,421		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
英語体験イベント、英語講座への参加者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	2,700	4,000	4,000	4,000	4,000
			実績値	3,546	2,933			
			達成率	100.0%	73.3%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	国際交流員による事業について、市民より事業頻度の増加等の要望もある。また、外国人住民の交流の場の提供にも貢献しており、市民ニーズや社会的需要が高いことから事業優先度も高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	事業後に実施している参加者アンケートにおいても多くの好評をいただいている。また、事業実施の際には多くの市民の皆様にご参加いただいている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	使用する教材等を交流員自身による手作りのもので対応するなど工夫を重ねており、一事業における費用も抑えることができています。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和7年8月上旬～国際交流員が1名退職となり、1名体制での事業対応となるため、国際交流員にかかる負担が大きくなることが想定される。そのため、国際交流担当の職員が電子決裁やSNS投稿などの事務作業を担うことで国際交流員にかかる負担の軽減に努め、事業のクオリティを維持する。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
154

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	英語が溶け込むまちづくり事業（再掲）			担当課	協働まちづくり課
業務名	多文化共生まちづくり業務			担当係	協働推進係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	6	国内・国際交流		事業区分	直営
主な取組	3	多文化共生のまちづくり		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	一般	2	1	8	英語が溶け込むまちづくり事業

目的と方針【PLAN】	市の活性化や人材育成、関係人口の増加に向け、姉妹都市や友好交流都市との交流の継続・充実を図るほか、グローバル化のさらなる進展に対応し、多くの市民が英語に親しむ環境の整備、多文化共生のまちづくりを進めます。				
事業概要【PLAN】	国際交流員により、外国人を対象とした日本語講座を開催するほか、外国人と市民との交流の場を創出する。また、英語版広報紙等により、外国人の視点での市の魅力や生活情報等を発信します。				
対象【PLAN】	英語に触れる機会が少なかった市民	意図【PLAN】	「英語」に対する抵抗感の解消、外国文化への興味関心を高める。		
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	<ul style="list-style-type: none"> 日本語にも精通した英語圏の外国人が直接市民と接する機会を設けること。 市民が英語や外国文化に興味を持ってもらうようになるための仕組みをつくること。 				

事業費【D0】	年度	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	668	695	682	484		
	一般財源	千円	10,195	11,004	10,369	8,937		
	事業費合計	千円	10,863	11,699	11,035	9,421		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
日本語講座、外国人と日本人との交流イベントへの参加者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	200	210	210	210	210
			実績値	195	234			
			達成率	97.5%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	イベント事業においては参加定員程度の応募が寄せられている。また、外国人住民の交流の場の提供にも貢献しており、市民ニーズや社会的需要が高いことから事業優先度も高い。ただ、日本語講座については、参加者が少ないことから次年度については、事業の縮小を行う予定である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	事業後に実施している参加者アンケートにおいても多くの好評をいただいております。事業実施の際には多くの市民の皆様にご参加いただいております。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	イベント事業については一度用意した物品を再度使用できるものであり、実施に係る費用は大きく抑えられている

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和7年8月上旬～国際交流員が1名退職となり、1名体制での事業対応となるため、国際交流員にかかる負担が大きくなることが想定される。そのため、国際交流担当の職員が電子決裁やSNS投稿などの事務作業を担うことで国際交流員にかかる負担の軽減に努め、事業のクオリティを維持する。
--------	----	-------------------------	---